

かごしま
木造住宅
コンテスト
2017



目次

	「かごしま木材住宅コンテスト 2017」	
02	作品集の発行にあたって	鹿児島県木造住宅推進協議会会長 守真 和弘
03	審査講評	審査委員長 古川 恵子
04	知事賞	始良平松の家
08	会長賞	子育て世代の五感で四季を楽しむ中山の ZEH の家
11	入選	庭までリビングの住まい
13	入選	家族と一緒に成長するお家
15	入選	日当山の家
17	入選	街中に建つ離れ家
19	入選	木格子のある家

募集要項

審査委員	委員長	古川 恵子 (鹿児島女子短期大学名誉教授)
	副委員長	柴田 晃宏 (鹿児島大学大学院理工学研究科(工学系)建築学専攻准教授)
	委員	東條 正博 (一般社団法人 鹿児島県建築士事務所協会会長)
	委員	堂込 清文 (一般社団法人 鹿児島県木材協会連合会専務理事)
	委員	井之上 由美子 (公益社団法人 鹿児島県建築士会女性部会長)
	委員	上橋 広行 (鹿児島県土木部建築技監)
	委員	守真 和弘 (鹿児島県木造住宅推進協議会会長)

募集対象	(すべてに該当すること)
	1. 鹿児島県内にある住宅で、県内の住宅事業者が施工した軸組工法による木造住宅(混構造、併用住宅も可。)
	2. 木材の使用量が、次の①または②のいずれかを満たす住宅
	①かごしま木の家((ア)及び(イ)の両方を満たす住宅)
	(ア)かごしま材の使用量が 10 m ³ 以上
	(イ)かごしま材の使用量の割合が全体の 50%以上かつ構造材の 50%以上
	②認証かごしま材の家((ア)～(エ)のいずれか 1 つ以上を満たす住宅)
	(ア)柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で 80%以上
	(イ)柱・梁・桁など構造材が、住宅の延べ面積に 0.023 m ³ / m ² を乗じて得た数値以上
	(ウ)造作材、下地材及びフローリングの合計面積が 16 m ² 以上
	(エ)上記(ア)(イ)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(ウ)における同材の実使用比の数値の合計が 1 以上
	3. 過去 3 年間(平成 26 年 9 月～平成 29 年 8 月)に完成・引渡しされた新築住宅
	4. 過去の「かごしま木造住宅コンテスト」に未応募のもの

募集資格 施主・設計者・施工者・大工(棟梁)の 4 者の連名で応募。(連絡窓口の方を 1 名選定)

募集方法	以下の書類をそろえて募集先へ持参もしくは郵送
	1. 応募用紙
	2. 施主の要望と反映の方法、コンセプト
	3. 設計・施工のポイント、住宅のアピール等
	4. 配置図、平面図(兼ねても可)
	5. 写真(外観 4 枚以下・内観 8 枚以下)
	6. かごしま材または認証かごしま材の出荷証明書の写し
7. その他(アピールに必要な図面等)	

募集締切 平成 29 年 9 月 1 日 金曜日

主催 鹿児島県木造住宅推進協議会

後援 鹿児島県

「かごしま木造住宅コンテスト 2017」 作品集の発行にあたって

「かごしま木造住宅コンテスト」は、鹿児島県の自然や歴史、風土、文化に根ざした木造住宅の振興を図るため、また県民の皆様にも木造住宅の良さを広く知っていただくために2001年から2年ごとに実施しており、今回で第9回目となりました。

在来工法による木造住宅は、古くから私たちが生活の知恵を積み重ねてきた伝統ある構造で、新築・リフォーム時の自由度が高く、他に比べ低予算で建築できるとされ、現在では、多様化する住まい手のニーズやライフスタイル、省エネルギー性能など時代の要請に対してもさまざまな配慮がなされています。

特に、地域で育った木を活用した住宅は、森林保全や地球温暖化の防止などの環境面はもとより地域産業の振興の面においても波及効果が大きいことから、国や県においては地域材を活用した木造住宅の普及促進に取り組まれています。

このようなことから、本コンテストは、県が提唱する「地材地建（地域で生産された木材・建材を使って、地域の大工・工務店等が住宅等を建設すること）」を推進する役割も担っています。

この作品集に掲載されている入賞作品は、鹿児島県で育った木の特性を活かし、心地よい住空間をつくるために建築主、設計者、施工者、大工さん等の関係者が協働し、工夫しながら完成された優れた住宅です。この作品集が県民の皆様の住まいづくりの一助となれば幸いです。

ご応募いただいた皆様方のご努力に深く敬意を表しますとともに、ご多忙のなか審議いただきました古川恵子委員長をはじめ審査委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

今後とも、人にも地球環境にもやさしい快適な木の住まいづくりの促進に取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成30年3月

鹿児島県木造住宅推進協議会
会長 守真 和弘

鹿児島県木造住宅推進協議会とは

鹿児島県の木造住宅の振興を促進するため、関係民間団体や関係行政機関などが結集して、従来の個人的な活動の範囲を超えて木造住宅の振興の諸活動を広範かつ長期的に実施していくことを目的として設立された協議会です。

協議会では、大工・工務店などの経営の近代化及び技術の向上、従来木造住宅の担い手の育成と定着・地位向上、従来木造住宅に対する県民の意識の向上などを通じて木材を中心とする地域住宅関連産業の活性化や地域に適した良質な木造住宅の建設推進等の活動をおこなっています。

鹿児島県木造住宅推進協議会会員

(公社) 鹿児島県建築士会
(一社) 鹿児島県建築協会
(一社) 鹿児島県建築士事務所協会
鹿児島県建築工友会
(一社) 鹿児島県林材協会連合会
鹿児島県木材協同組合連合会
鹿児島県森林組合連合会
鹿児島県プレカット協議会
かごしま地材地建グループ連絡協議会
(一社) 全国木造建設事業協会 鹿児島県協会
鹿児島県町村会
鹿児島県
(公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター

(平成30年3月現在)

審査講評

「かごしま木造住宅コンテスト」は、鹿児島県の自然や歴史、風土、文化に根ざした木造住宅の顕彰を目的に平成13年に始められました。隔年ごとに今回は第9回となります。

「鹿児島県産材の良さが実感でき、省エネや超寿命化を図り、子どもや高齢者が安心して暮らせ、周囲の街並みなどの景観に配慮した住まい」を募集した結果、応募要領を満たした15点が審査対象となりました。

施主、設計者、施工者、大工(棟梁)の4者が一体となって、より良い住宅づくりを目指された結果を7人の審査委員で審査しました。一時審査では審査委員の投票と討議によって7点を選び、その中からさらに知事賞・会長賞候補となる二次審査の対象5点を選定しました。二次審査では現地において詳細を確認、体感し、施主・設計者・施工者等の説明を聞き、一時審査と同様の方法で知事賞・会長賞を選定しました。

知事賞に選ばれた「始良平松の家」(始良市)は、「かごしま材」をふんだんに使用し、木造であることを印象づける外観を呈しています。屋内では、伝統的木造住宅の空調機器に頼らない心地よい涼しさを感じられました。ルーバー雨戸、屋根によしずを使用したパーゴラ、窓外側のシェード等で通風と日射遮蔽の工夫が最大限施され、周辺の自然環境を活かした住宅は、施主の意向を十分反映した住まいとなっています。夫婦だけの小規模住宅とはいえ、回遊性のある間取りで動線もすっきりしており、植栽のバランスも良く、既存の石積みを生かし地域の景観にも配慮されています。東面の植栽と、石積み上部の安全性に今後の配慮を期待する意見もありました。

会長賞に選ばれた「子育て世代の五感で四季を楽しむ中山のZEHの家」(鹿児島市)は、①床に鹿児島県産杉材を使用するなどかごしま材を多く使用している、②省令準耐火を取得するなど防火対策を工夫し、外壁に木材を使用している、③キッチンの流し台、作業台、棚等に木材を使用している、④夫の職業や遊び盛りの子どものことを考えて玄関から浴室へ直接行ける動線計画も、平面計画全体でうまく納まっている、などが評価されました。一方、断熱性能向上のために使用したトリプルガラスは、コスト・重量を考えるとどうかという意見がありました。

入選の「庭までリビングの住まい」(日置市)は、庭とLDKを大開口でつなぎ、庭を楽しみたいという施主の要望に応えた住宅で、①構造材が見え、かごしま材をふんだんに使用している、②LDKが開放的である、③外壁をシラス壁とすることにより、温かみのある仕上げとなっている等が評価されました。階段の手すり、収納空間には一工夫欲しかったという意見がありました。

「家族と一緒に成長するお家」(指宿市)は、①2階が魚見岳が望めるなど開放的である、②洗面所は外部から直接入れるようにタイル張りで、農作業後や子供たちの遊びに対応していること等が評価されました。一方、かごしま材の使用率が小さいこと、手すりがLDK側になく不安であるという意見がありました。

「日当山の家」(霧島市)は対角線状に棟を持つ斬新なデザインで、DK前の格子もうまく活かされており、外観的にはインパクトがある、という評価の一方で、街並みに合った外観かという点では議論が分かれました。内部に木材がほとんど見えないのは残念でした。窓のとり方から住宅全体の通風について懸念が示されました。

「街中に建つ離れ家」(鹿児島市)は床・壁・天井など内装仕上げ材にもかごしま材をふんだんに使用した住宅で、街中の高層ビルに囲まれた中で、落ち着いた、温かみの感じられる憩いの離れとなっています。

「木格子のある家」(鹿児島市)は、玄関ポーチの木格子の使い方がうまく、内外ともデザインがすっきりしていることが評価されました。外観デザインが建物の西側と東側で分断されていることを惜しむ意見がありました。

近年、高气密・高断熱を最優先にし、外部に対して閉じた、庇も軒も出ない住宅が多く見られるようになっていきましたが、近隣とのつながりや図り、自然や地域性を活かした「かごしまの住まい」というものを改めて考えさせられる内容でした。なお、文字が小さすぎて図面や文章が読みにくい、また、施主の要望をどのように反映したのか、計画・建築のコンセプトやアピールポイントが明確でない提出書類がありました。配慮が望まれます。

最後に、ご応募いただきました方々の木造住宅への取り組みに敬意を表しますとともに、今後ともかごしまの木造住宅の発展にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

「かごしま木造住宅コンテスト2017」審査委員会
委員長 古川 恵子(鹿児島女子短期大学名誉教授)

始良平松の家

始良市

設計/株式会社 建築工房 自然木

施工/株式会社 建築工房 自然木

棟梁/久保田 伸介

- A 豊かな自然光が降注ぐ南に面したリビング
- B インテリアのアクセントにもなる蓄熱タイル
- C 生活全体を見渡せる位置にキッチンを計画



郊外に敷地を確保し、家庭菜園で野菜を作りながら、愛犬と一緒に薪ストーブを楽しむ自然派志向のご夫婦の住まいです。結露の発生しない窓周り、空調機にできるだけ頼らない生活の実現が課題となりました。

夜間から明け方にかけての気温低下を利用した通風、排熱への自然風利用と、日中の徹底した日射遮蔽で、空調機にほとんど頼らない生活を実現しています。



パッシブデザインで空調機に頼らない生活を実現

鹿児島は、暖房より冷房用のエネルギー消費の多い地域です。夏期の日射遮蔽を重視して、窓面に日射を侵入させない工夫として、十分な軒の出やヨシズ設置等を採用しつつ、冬は十分な日射取得が得られるように計画しました。東西面の日射は、ルーバー雨戸やスダレ、外付けシェードで対応して、夏場の日射を窓面に当てないように考慮しました。

日射遮蔽を徹底するため、軒の出に加え、ヨシズの設置やルーバー雨戸を採用しています。空気中を乱反射する天空日射は夏場には直達日射と同等の熱エネルギーを持っているため、ヨシズやルーバー雨戸はこの天空日射対策も想定しています。

ウッドデッキに日影を作るヨシズは、デッキ床の温度上昇を抑えることで、床からの輻射熱を低減することができます。ルーバー雨戸は、夜間の通風用に考えられた商品ですが、天空日射を外部で遮蔽する優れたアイテムとも言えます。日射遮蔽には、遮蔽アイテムを外付けするほうがより効果的です。東面の日射は外付けのシェードスクリーンで対応。西面の主寝室の窓は夜間通風の利用も考慮して、ルーバー雨戸で強い西日に対応しています。



- D** コンパクトながらご夫婦にはちょうど良い広さのリビング
- E** LDKの奥には書斎や洗濯物干し場になるファミリーコーナー
- F** 2階は多目的に使えるオープンなワンルーム
- G** 平日の日中は断熱スクリーンを閉めて日射をコントロール
- H** 強い日差しはシェードスクリーンで対策





受賞のコメント

株式会社 建築工房 自然木
担当者：村田 義弘 さん

もともと機械空調が苦手だったご夫婦が、季節ごとに変化する日の入り方や通風、熱の流れを丁寧にデザインすることで、空調機にできるだけ頼らない生活を実現し、その生活を楽しんでいらっしゃいます。日射遮蔽を徹底し、朝夕の涼しい空気を有効利用することで、我慢する省エネではなく、身近に存在するエネルギーを丁寧に楽しむ生活。「家あそびの舞台」の提案です。

I

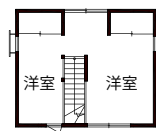
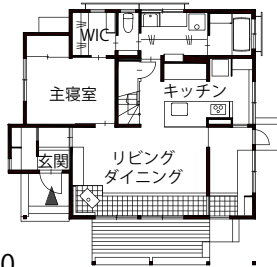
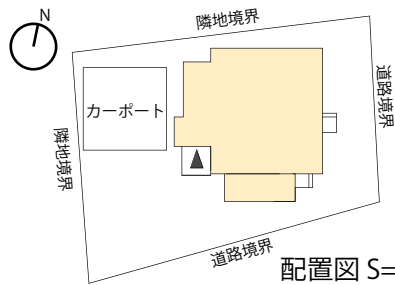


data

2階建て / 平成 27 年 10 月 完成
敷地面積 / 271.27 m²
建築面積 / 73.96 m²
延床面積 / 95.49 m²

I 十分な軒の出と上部に設けたヨシズで夏の日差し対策

J 落ち着いた外観が植栽との美しいコントラストを創出



プランコンセプト

延床 29 坪のコンパクトな平面ながら 1 階に寝室を設け、老後は 1 階のみで生活できる間取りとしました。トイレの出入り口を左右 2 ヶ所に設け、キッチン・主寝室を中心とした回遊性のある間取りを計画。朝起きて出勤して帰宅まで、スムーズに動ける平面計画としました。

応募条件への適合状況

かごしま木の家		認証かごしま材の家	
「かごしま材の使用量が 10 m ² 以上」かつ「かごしま材の利用量の割合が全体の 50%以上かつ構造材の 50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で 80%以上	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が 16 m ² 以上
		(2) 柱・梁・桁など構造材が、住宅の延べ面積に 0.023 m ² / m ² を乗じて得た数値以上	上記 (1)(2) のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と (3) における同材の実使用比の数値の合計が 1 以上

子育て世代の 五感で四季を楽しむ中山の ZEH の家

鹿児島市
設計/株式会社 建築工房匠
施工/株式会社 建築工房匠
棟梁/雪丸 浩好



動線や意匠性、快適性を熟慮した設計へのこだわり

お施主様が家づくりを考え始めたのは子供の出産を機に、夏暑い、冬寒い、賃貸住宅に住みながら過ごすより、家賃と同じ程度の資金で持ち家を計画出来たら良いとの思いで始めました。アイランドキッチン、パントリー、水廻りが効率よく、プラン、天井高さ、太陽光発電等今回の計画は土地取得からの為、総予算の範囲内での提案を希望されていました。

生活動線はシンプルにし、子供が汚れて帰ってきても直ぐにお風呂場に直行できる間取りとし、卓越風・昼光利用・断熱・夏の日射対策など、自立循環型住宅の設計手法を採用しました。

A 木が香るリビング。造作家具にもふんだんに木材を使用

B 落ち着いた和室と飾り障子



過去の思いでも住まいの一部に

ご夫妻が結婚される前、まだ子供がお腹にいたころに、出かけた浜辺で拾ってきた流木は、お祝い事の際にも良く眺めていたという思い出の品です。お金では買えない価値を住まいの装飾として取り入れたいと熟考した結果、鴨居の上と階段上の飾りとして採用しました。見るたびに幸せな家族の思い出が追加されてゆく、地震や災害から物理的に家族を守るだけでなく、暮らしを見守るという意味での価値をこの工夫にこめています。

建築材料のこだわりとして認証かごしま材を多く使用しました。柱梁は杉の 8 寸角の柱を利用しながら耐力壁としても工夫。トイレ以外はすべて引き戸にすることで、自然風を取り入れ日中は照明をつけなくても明るい快適な家になりました。



C 2階の広々とした洋室

D 8寸角の大黒柱を耐力壁やテレビ台に利用

E 思い出の流木を装飾にした階段

F 奥行きのある軒の出とベランダ。生活の場を広げるデッキテラス

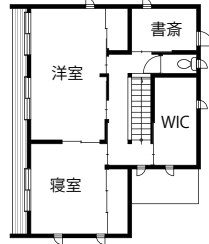
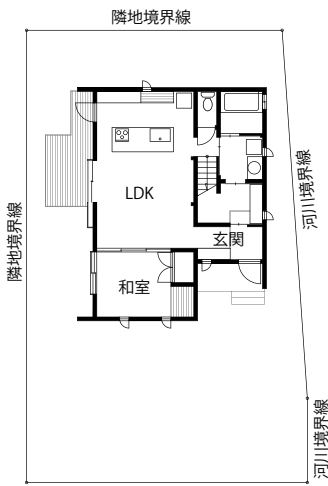


受賞のコメント



株式会社 建築工房 匠
担当者：福迫 健さん

木の香りによやされ暖かい快適な家づくりの為に
認証かごしま材を 100%使用。省令準耐火、耐震
等級 3、断熱性能：一次エネルギー消費量 UA 値
0.45 を取得し自立循環型住宅の設計手法で設計
し、「高性能住宅」なので、火災保険料が約 1/3
におさえられ長期的視点から心に、身体に、経済
的にメリットの大きい住まいを提案。



配置図平面図 S=1:300

G 南側外観。ベランダ手すりに柃目材を使用してデザイン性を向上



data
2階建て / 平成 29年 3月完成
敷地面積 / 245.30 m²
建築面積 / 67.36 m²
延床面積 / 108.82 m²

応募条件への適合状況

かごしま木の家		認証かごしま材の家			
「かごしま材の使用量が 10 m ³ 以上」 かつ「かごしま材の利用量の割合が 全体の 50%以上かつ構造材の 50% 以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比 で 80%以上	○	(3) 造作材、下地材及びフローリングの 合計面積が 16 m ² 以上	○
		(2) 柱・梁・桁など構造材が、住宅の延べ 面積に 0.023 m ³ / m ² を乗じて得た数値以上	○	上記 (1)(2) のいずれかにおける認証かご しま材の実使用比と (3) における同材の 実使用比の数値の合計が 1 以上	○

庭までリビングの住まい

日置市

設計/ヤマサハウス 1級建築士事務所

施工/ヤマサハウス 株式会社

棟梁/田嶋 経助

- A 庭と大開口でつながり一体となったリビング
- B 木の風合いをそのまま生かしたリラックスできる空間

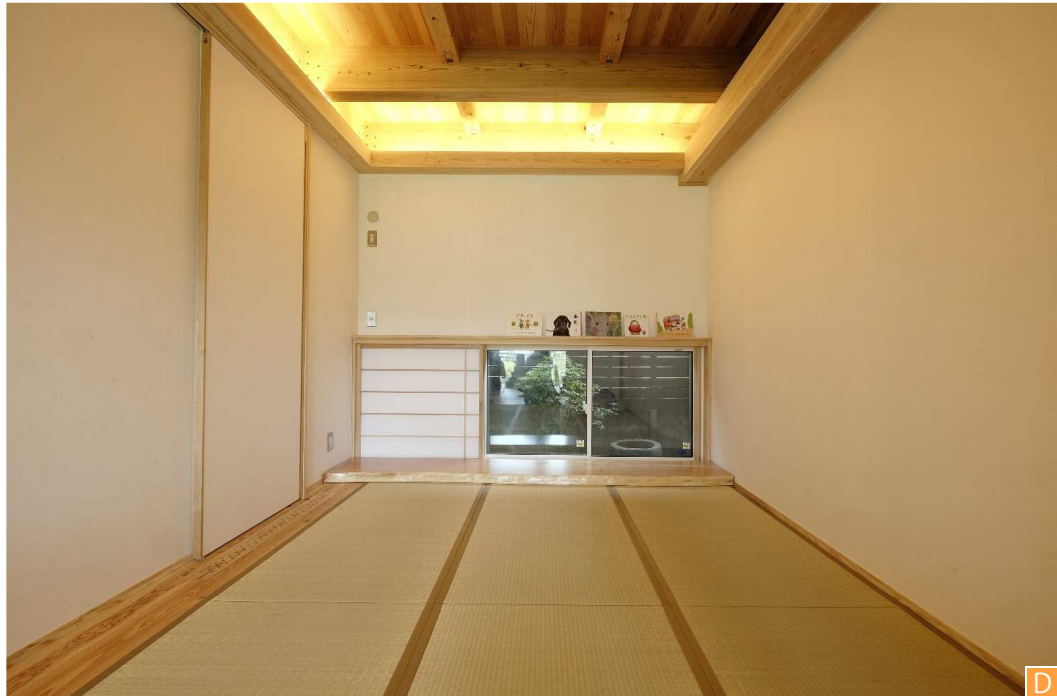
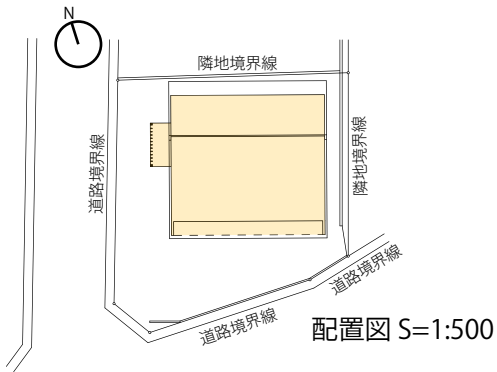


開放感あふれる暮らしを実現

ZEH に対応した高气密高断熱の基本性能を持たせながら、パッシブデザインを取り入れた先進の住宅になっています。建物を真南に向け、深い庇で夏期の日射は遮り、冬期には暖かい日照を迎え入れます。また、夏に東西から入り込む暑い日射は壁と外側ロールスクリーンでカット。外回りには外部の熱を断熱する遮熱シートも装備しています。窓の配置にも工夫をし、吹抜けを通じた高窓やウィンドキャッチャー・北側地窓を設けて風通しの良い計画とし、寝室以外の居室はすべて2面採光を採用し、昼間に照明をつける必要のない明るさを確保しました。

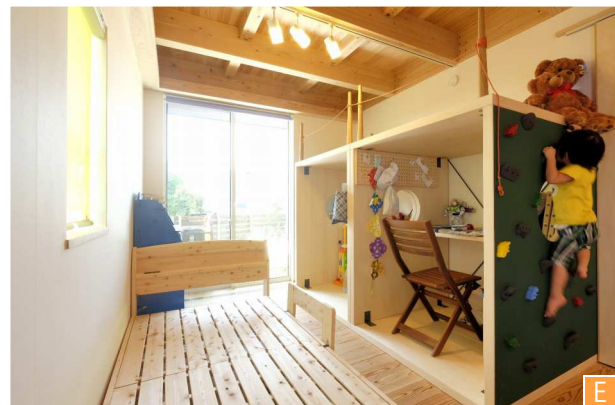


data
 平屋建 / 平成 28 年 12 月完成
 敷地面積 / 229.48 m²
 建築面積 / 94.81 m²
 延床面積 / 81.98 m²



- C 西側外観
- D 寝室と兼用の和室には地窓と坪庭を設け通風にも配慮
- E 2面採光とした子供部屋は昼間照明が必要ないほど明るい

LDK を大開口で開放して庭と景色を取り入れて広がりを持たせ、日常の景色として楽しむ計画としました。1階寝室の要望を和室と兼用することで、コンパクトな平屋でまとめながら、大開口で庭と、引戸で和室と、勾配天井でロフトとつないで広々とした空間に仕上げました。雑木と野草を主体に里山を再現した庭は、かつてあった時間の流れ、風景を想像させます。



応募条件への適合状況					
かごしま木の家		認証かごしま材の家			
「かごしま材の使用量が 10 m ² 以上」かつ「かごしま材の利用量の割合が全体の 50%以上かつ構造材の 50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で 80%以上	○	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が 16 m ² 以上	-
		(2) 柱・梁・桁など構造材が、住宅の延べ面積に 0.023 m ² / m ² を乗じて得た数値以上	○	上記 (1)(2) のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と (3) における同材の実使用比の数値の合計が 1 以上	-

家族と一緒に成長するお家

指宿市

設計/株式会社 ベルハウジング

施工/株式会社 ベルハウジング

棟梁/木原 俊輔

- A 吹き抜けのある天井の高いリビング
- B 明るい吹き抜けを上げる階段
- C キッチンからリビングを見る



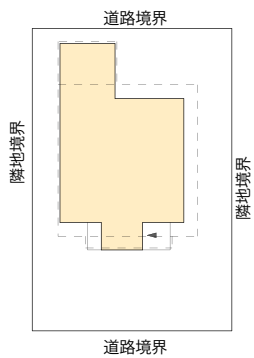
指宿の大自然の景観を室内に取り入れ、皆がワクワクする家を作りました。家族皆で過ごす孤立する空間のない家ですが、子供達の成長に合わせて間仕切りもできるように、さらに同居するお父様のプライベートの空間を確保する計画としました。

data

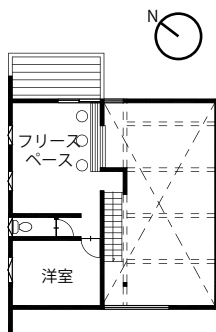
2階建て / 平成28年11月完成
 敷地面積 / 264.47 m²
 建築面積 / 91.91 m²
 延床面積 / 115.10 m²



D 西側外観
 E 2階フリースペース



配置図 S=1:500



平面図 S=1:300



応募条件への適合状況			
かごしま木の家		認証かごしま材の家	
「かごしま材の使用量が 10 m ³ 以上」かつ「かごしま材の利用量の割合が全体の 50%以上かつ構造材の 50%以上」	-	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で 80%以上	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が 16 m ² 以上
	-	(2) 柱・梁・桁など構造材が、住宅の延べ面積に 0.023 m ³ / m ² を乗じて得た数値以上	上記 (1)(2) のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と (3) における同材の実使用比の数値の合計が 1 以上

霧島市

設計/株式会社 酒井建築事務所

施工/株式会社 ブルケン・ウエスト鹿児島営業部

棟梁/迫 和己

- A 空間がつながるパブリックなリビング
- B トップライトから差し込む光により明るい空間を創出
- C 建具を全開放して外部空間と一体として利用する



プライベートとパブリックを明確にゾーニングし、リビング・ダイニング・中庭・ピロティが一体的なパブリックゾーンとして利用できる計画としました。特に中庭は、親戚が集まることが多いクライアントのため、全開放して外部空間と一体利用することも可能なものに計画しました。プライベートゾーンにはランドリースペースを設け、土地の特色である降灰に配慮しました。

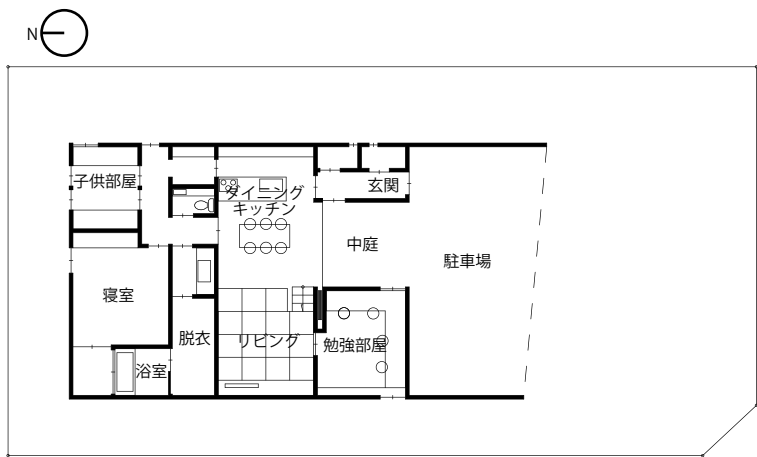




data

平屋建て / 平成 29 年 7 月完成
 敷地面積 / 451 m²
 建築面積 / 167.35 m²
 延床面積 / 167.35 m²

- D 圧迫感の軽減に配慮した外観
- E 子供部屋は高い天井を生かし2段ベッドで空間を有効活用



平面図 S=1:300



応募条件への適合状況					
かごしま木の家		認証かごしま材の家			
「かごしま材の使用量が 10 m ² 以上」かつ「かごしま材の利用量の割合が全体の 50%以上かつ構造材の 50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で 80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が 16 m ² 以上	-
		(2) 柱・梁・桁など構造材が、住宅の延べ面積に 0.023 m ² / m ² を乗じて得た数値以上	○	上記 (1)(2) のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と (3) における同材の実使用比の数値の合計が 1 以上	-

街中に建つ離れ家

鹿児島市

設計/内村建設 株式会社

施工/内村建設 株式会社

棟梁/谷山 健治



A 無垢の天然木材を使用した木の温かみや香りを感じる空間

B リビングと一体となる和室

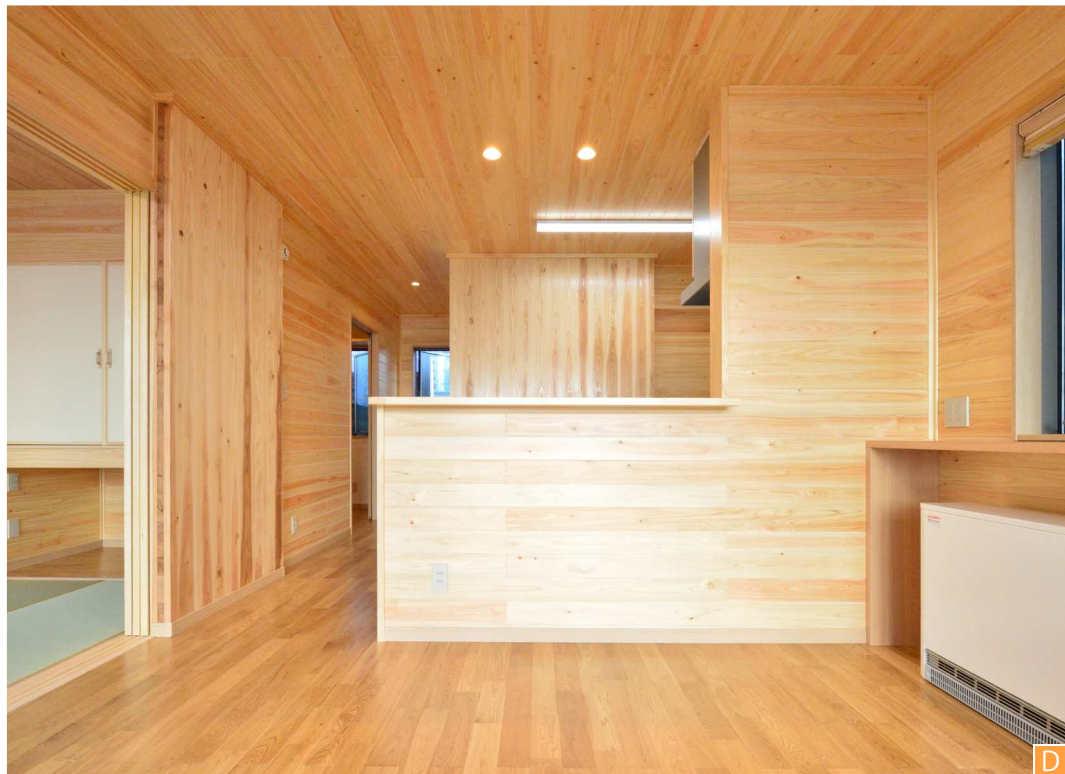
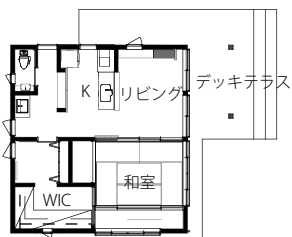
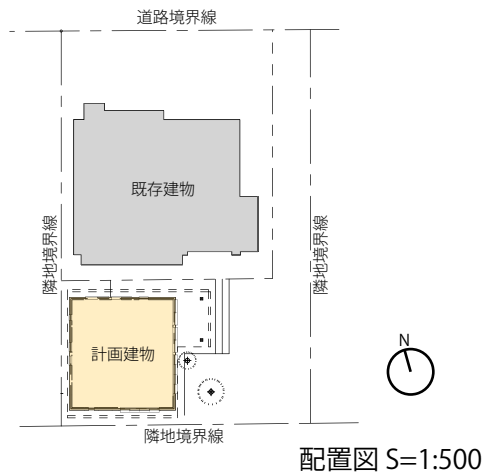
マンション等が多く立ち並ぶ周辺環境の中に敷地はあります。既存の住宅の庭隠居としての離れを造り、街中に在っても、自然を感じる事の出来る終の棲家となっています。木造で、仕上げにも木材を多く使うこと、庭のもみじの木を残すこと、屋内でも自然を感じられることなどが施主の主要望でした。出来る限り木を使う計画とし、室内の床・壁・天井の仕上げに無垢の天然木材を使用した事で、木の温かみや木の薫りを感じられる家としました。

中間期には建具を開放することで、風の通り道を確保できます。庭に面した窓を出来るだけ大きく取り、庭に残したもみじや庭芝を身近に眺め感じることが出来ます。



data

平屋建て / 平成 28 年 7 月完成
 敷地面積 / 179.02 m²
 建築面積 / 54.05 m²
 延床面積 / 46.68 m²



C 外観と母屋と連続するデッキテラス
D 最小限のリビングとキッチン

応募条件への適合状況

かごしま木の家		認証かごしま材の家			
「かごしま材の使用量が 10 m ² 以上」 かつ「かごしま材の利用量の割合が 全体の 50%以上かつ構造材の 50% 以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比 で 80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの 合計面積が 16 m ² 以上	-
		(2) 柱・梁・桁など構造材が、住宅の延べ 面積に 0.023 m ² / m ² を乗じて得た数値以上	-	上記 (1)(2) のいずれかにおける認証かご しま材の実使用比と (3) における同材の 実使用比の数値の合計が 1 以上	-

木格子のある家

鹿児島市

設計/有限会社 イヤダニ工務店 設計事務所

施工/有限会社 イヤダニ工務店

棟梁/巖谷 勇司

A 南側の窓から光を取り入れるリビング

鹿児島市内の緑豊かな地域ながら、都市区画整理事業により新しい建物が次々に建つ住宅地での計画でした。『日当たりが悪くならないか?』という問題に対し、敷地形状に従い東西に細長く、南面を広く取る現在のプランを提案しました。配置の検討に当たっては、南側に迫る隣家からの日影の落ち方なども考慮しました。『木の素材が好き!』とのご要望に答えて、玄関周りのデザインアクセントにもなっている木格子や目隠しの木塀、木製のストリップ階段、大小3カ所の造作カウンターなど、空間のバランスにも配慮しながら、随所に木を用いて造作を行いました。





data

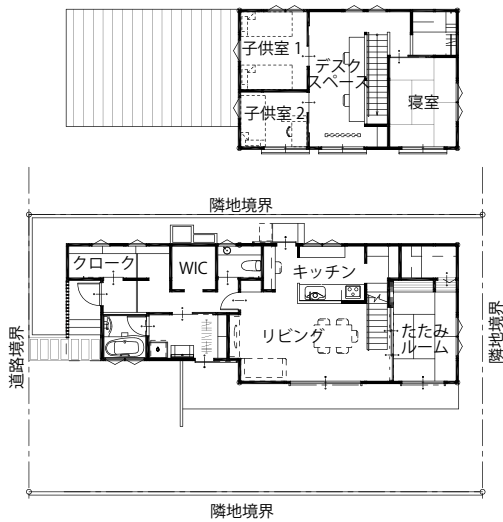
2階建て / 平成 29年 4月完成
 敷地面積 / 197.56 m²
 建築面積 / 78.25 m²
 延床面積 / 121.10 m²

B

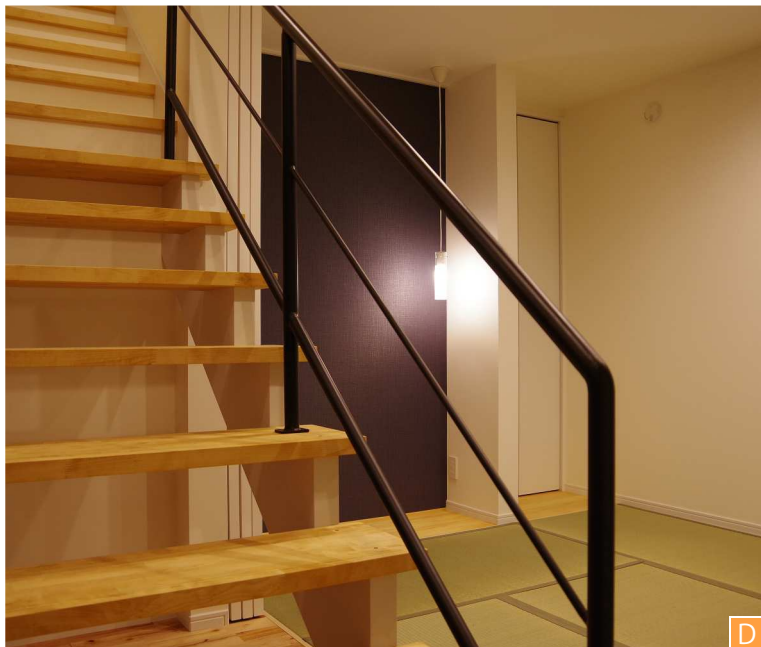


C

- B 西側外観
- C 2F デスクスペース
- D 階段奥のたたみルーム



平面図 S=1:300



D

応募条件への適合状況					
かごしま木の家		認証かごしま材の家			
「かごしま材の使用量が 10 m ² 以上」かつ「かごしま材の利用量の割合が全体の 50%以上かつ構造材の 50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で 80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が 16 m ² 以上	-
		(2) 柱・梁・桁など構造材が、住宅の延べ面積に 0.023 m ² / m ² を乗じて得た数値以上	-	上記 (1)(2) のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と (3) における同材の実使用比の数値の合計が 1 以上	-

かごしま
木造住宅
コンテスト
2017

知事賞

始良平松の家
設計 / 株式会社 建築工房 自然木
施工 / 株式会社 建築工房 自然木
棟梁 / 久保田 伸介



会長賞

子育て世代の
五感で四季を楽しむ中山の ZEH の家
設計 / 株式会社 建築工房匠
施工 / 株式会社 建築工房匠
棟梁 / 雪丸 浩好



入選

庭までリビングの住まい
設計 / ヤマサハウス 株式会社
施工 / ヤマサハウス 株式会社
棟梁 / 田嶋 経助



入選

家族と一緒に成長するお家
設計 / 株式会社 ベルハウジング
施工 / 株式会社 ベルハウジング
棟梁 / 木原 俊輔



入選

日当山の家
設計 / 株式会社 酒井建築事務所
施工 / 株式会社 ブルケン・ウエスト 鹿児島営業部
棟梁 / 迫 和己



入選

街中に建つ離れ家
設計 / 内村建設 株式会社 一級建築士事務所
施工 / 内村建設 株式会社
棟梁 / 谷山 健治



入選

木格子のある家
設計 / 有限会社 イヤダニ工務店 設計事務所
施工 / 有限会社 イヤダニ工務店
棟梁 / 巖谷 勇司



事務局 / 鹿児島市新屋敷 16 番 228 号
(公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター内
TEL:099-224-4543